

坂崎小学校

創立 明治5年

校長 伊藤 健

所在地 幸田町大字坂崎字揚り山 31 番地 電話 62-0115 FAX 62-0197

校地面積 16,135 m²(施設台帳より引用) E-mail sakazaki@town.kota.aichi.jp

校訓

校章

よい子
つよい子
かしこい子



1 教育方針

(1) 本校の教育目標

校 訓	め ざ す 子 ど も 像
よい子	礼節を重んじ、力を合わせて、心豊かに生活する子 (心)
つよい子	命を尊び、心や体を鍛え、汗を流す子 (体)
かしこい子	学ぶ楽しさを求め、深く考え、自ら学ぶ子 (知)

豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる坂崎っ子の育成

『声が響きわたり、笑顔があふれる坂小ファミリー』

(2) 経営方針

◎ 教職員と子ども・家庭・地域が信頼し合い、みんなにとって心地よい学校づくりを目指し、次のような教育活動を展開する。

ア 心(徳)・体・知の調和のとれた教育計画を立案する。

イ「常に子どもに寄り添い、子どもとともにある」を合い言葉に、教育支援をする。

ウ「気づき」「つながり」「ふりかえり」を視点とした教育活動を構築する。

エ 子どもの健やかで豊かな成長を支える環境づくりを進める。

オ「子どもとともに私も伸びる」という謙虚な気持ちで、教師としての感性・共感力を磨きながら、情熱と人間力・指導力を備えた魅力ある教職員集団を形成する。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 豊かな心をもつ子ども(心:よい子)

豊かに感じ、表現する子どもの育成

- ・ あいさつと「はい」「ありがとう」「すみません」の言葉を大切に、教育活動全体で道徳的实践力を養う。
- ・ 子どもの心を揺さぶる体験活動を意図的・計画的に展開し、感じる心と素直に表現しようとする態度の育成を図る。
- ・ 読書活動や合唱など、文化的活動を充実させ、豊かな感性を育む。

イ たくましく生きる子ども(体:つよい子)

自ら進んで自分を鍛えるたくましい心と体の育成

- ・ 健康と安全に配慮した教育活動を展開する。

- ・ 誰にとっても安心できる学校を目指し、いじめ・不登校の早期発見・早期対応、解消に努める。
- ・ 授業や行事、業間、「きらきらタイム」等、あらゆる活動を通して、体力づくりの主体的な取り組みを推奨する。

ウ 目を輝かせて学ぶ子ども（知：かしこい子）

自分の思いが表現できる子どもの育成

- ・ 子どもの眼と心を惹きつけ、夢中になって取り組めるような魅力ある授業づくりを工夫する。
- ・ 友達の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりして、仲間とかかわり合いながら意欲的に授業に参加できるよう手だてを工夫する。
- ・ 子どものつぶやきや表情を鋭く感じ取り、指導に活かせるよう教師の感性を磨く。
- ・ 教科教育において外国語・算数・音楽など、より専門性を生かした教科指導体制を取り入れるとともに、各教科等においてICT教育の導入を推進していく。

2 現職教育の研究課題・研究分野

(1) 研究主題

「豊かな心を持ち、目を輝かせて学び、たくましく生きる子の育成」
 ー子どもたちが夢中になって学び、伝え合う力を育てる授業・学級づくりー

(2) 研究の方針

- ア 伝え合う力を育む基盤として、児童一人一人が安心して自分らしさを発揮できる学級づくりを目指す。
- イ 各教科等において、問題解決的な学習、体験的な活動を充実させ、興味・関心を生かした自主的、自発的な授業づくりに努める。
- ウ 仲間とかかわり合いながら、夢中になって取り組める授業展開を工夫する。
- エ 国語科を中心として、発達段階に応じた「話す」「聞く」力を系統的に育成する。
- オ 1人1台端末等を活用した学習活動の充実を図る。
- カ 学級全員が参加できる授業を目指し、ユニバーサルデザインの視点である「焦点化」「視覚化」「共有化」の手だてを取り入れながら授業づくりを工夫する。

3 教職員構成

名称	県											町											町計							
	校長	教頭	主幹教諭	教務主任	校務主任	教諭・講師（再任用含む）	養護教諭	栄養教諭	事務職員	非常勤講師	校務補助員	スクールカウンセラー	県計	授業担当教員	通級指導教員	日本語指導教員	養護教諭補助教員	心の支援員	介助補助職員	理科支援員	母国語対応支援員	教員補助員		スクールサポートスタッフ	用務員・校務員	学校図書館指導員	ALT	スクールカウンセラー	ICT支援員	
人数	1	1	0	1	1	11	1	0	2	4	0	1	23	1	0	0	1	0	1	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1	11

4 学級編制状況

学年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特支	計
学級数	1	1	1	1	2	2	2	10
人数	25	28	28	35	36	46	6	204

実家庭数	15	17	17	30	36	45	3	163
------	----	----	----	----	----	----	---	-----

5 クラブ活動・部活動等の編制状況

(1) 運動系

名 称	球 技	レクリエーション	ゲートボール
人 数	20	20	10

(2) 文化系

名 称	室内遊び	プログラミング	クラフト
人 数	20	31	20

6 教育課程・日課編成上の特色

- 少人数指導 確かな学力を定着させるために、第3・4学年の算数の授業等において行う。
- 通級指導 生活上、学習上で個別の支援を必要とする児童に行う。
- 委員会 月曜日 第6時限（不定期）4～6年 常時活動を重視する。
- クラブ 月曜日 第6時限（不定期）4～6年
- 集会活動 金曜日 8時25分～8時40分（年間4回程度）
- 読み聞かせ 水曜日 8時30分～8時40分
- 読書タイム 月・水曜日 8時30分～8時40分
- きらきらタイム 火・金曜日 8時30分～8時40分
- わくわくタイム 木曜日 8時25分～8時35分

7 その他の特色ある活動

「あいさつ」「思いやり」「自分から」という姿が日常の子どもたちのなかに定着することを目標に、次のような活動を展開する。

(1) 豊かな道徳性の育成を図る体験活動

- ・ 縦割り班による清掃活動や集会活動（全校遊びの重視）
- ・ うさぎの飼育活動
- ・ 「あいさつ運動」「アルミ缶集め」などの児童活動
- ・ 学校田、畑における勤労体験学習

(2) 学校、家庭、地域が連携した体験活動

- ・ 地域の人を講師にして実践する学習活動
- ・ 家庭教育学級を中心とした親子活動
- ・ 郷土を見直す、親子ふれあい「学区ウォークラリー」
- ・ 保護者・ボランティアによる読み聞かせ
- ・ 地域の人と連携した里山保全活動



4月 5年田植え



2月 6年青塚古墳見学

8 PTAの組織（役員・委員の名称及びその人数）

会 長	…1名	副 会 長	…3名
書 記	…3名	会 計	…2名
家庭教育委員	…2名	会 計 監 査	…2名
幹 事	…3名		